

(別紙4(2))

事業所名 グループホームあじさい「つるまい」

目標達成計画

作成日: 令和 6年 3月 31日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	外国人職員が多くなっている。日本語の理解力、個々に違っている。利用者様からの言葉が通じない。	・利用者様、職員同士のコミュニケーションがスムーズに取れる。 ・利用者様の支援内容を、理解することができる。	・先輩外国人の教育係の育成。 ・法人、外国人担当との連携で、困りごとを共有し細やかな支援を行う。 ・利用者様との関りを、日本人職員がカバーする。日本人教育係が寄り添う。	10ヶ月
2	13	職員による、知識・技術の差が大きい。	・利用者様に合った、支援ができるようになる。 ・法人内研修への積極的な参加。	・法人内の基礎研修参加の促し、日勤帯で参加できるようにする。 ・利用者様のニーズをくみ取り、ご自身でできる事をおこなって頂く支援統一。	6ヶ月
3	49	職員からの自発的な、行事の取り組みが少ない。	・3ユニットあり。各常勤職員を中心に行事計画を行う。 ・普段より、外出支援の日常化を目指す。	・行事計画書の見える化と、張りだして意識する。 ・外出支援が出来るような、職員配置。外国人職員の短時間勤務時に、散歩に出かける。	3ヶ月
4	10	小規模・グループホームと共同で運営推進会議を行っているが、ご案内はしているが、家族様の参加が少ない。	・家族様の参加が定期的にある。 ・気軽に参加できる話し合いの場でありたい。	・おたより発送時は、案内は毎回掲載し書面を付ける ・施設訪問時に声掛けをさせて頂く。 ・話し合いだけではなく、企画を考える。いきいき支援センター職員の意見を頂く	10ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。